

文化・アート

大成哲雄（聖徳大学児童学部児童学科）

1. 実態と課題 松戸市のアートによるまちづくりの現状

1-1 実態

松戸市では2010年から松戸駅周辺で「松戸アートラインプロジェクト」（現「暮らしの芸術都市」）が始まり、2012年には常盤平団地でもアートプロジェクトが行われた。また、2008年から聖徳大学と地域、行政が協力し、松戸中央公園で行っている「アートパーク」は毎回1200人ほどの親子参加があり、徐々に大学、市民にアートが身近なものになって来ており、交流、学びの場が生まれている。

また、アートプロジェクトとして、松戸中央公園、西口公園、江戸川河川敷などで新たな利用法の提案が行われ、旧米店がアーティストのアトリエとして生まれ変わり、元ホテルはレジデンス施設「PARADISE AIR」として海外からアーティストが訪れるようになった。また、市民の中から造形ワークショップを企画するグループ「じゅんびしつ」も生まれ、こういったプロジェクトをいくつか企画、実行しながら「暮らしの芸術都市」として市民がつくる大きな文化政策に発展することが期待されている。

また、小学校、中学校、保育所等にアーティストや大学生が関わり、教育機関との連携も徐々に始まって来ている。2014年には、高松市芸術士派遣事業から芸術士を招き公開ワークショップ、シンポジウムを本学で開いた。今後は継続性をもったプロジェクトの一つとして同様の事業について「暮らしの芸術都市」内で検討が始まった。

「暮らしの芸術都市」はもともと「JOBANアートライン構想」の一つとして始まったプロジェクトである。常盤線沿線各所で行われているアートプロジェクトとの連携もすすんでおり、情報交換も行われている。各アートプロジェクトの全体像が分かる映像が年末から松戸駅前のモニターで公開されている。

1-2 課題

「暮らしの芸術都市」の企画、運営は松戸駅周辺の11の自治会、町内会から代表者で構成され、地域住民が主体となり「松戸まちづくり会議」としてまちづくりとアートを横断する事業に取り組んできている。運営方法も徐々に改善されてきている。しかし、まだ市民の認知度は高いとは言えず、今後は更に市民を巻き込んだ展開や適切な広報が必要である。

また、プロジェクトを継続、実行していくには、アート

やまちづくり、教育などに精通したコーディネーターの存在は欠かせない。プロジェクトに関わりながらプロセスやノウハウを身につけるインターンやボランティア等は初回から設けられているが、今後も継続的に行われ人材育成をしていく必要がある。

2. コンセプトと目標設定

「暮らしの芸術都市」のコンセプトは、私達が日常的に行っている暮らし、生活の営みを芸術として捉え直し、多様な市民の手によりアートやまちづくりを横断するプロジェクトに取り組み、地域を活性化することである。

今後は、より多様な市民が関われるシステムをつくり、アートによるまちづくりを推進する。

3. 主な実践事例・アートプロジェクト・ワークショップ



「アートパーク」 聖徳大学+地域+松戸市他
2008年～現在



「お米屋さんプロジェクト」 大成哲雄+聖徳大学大成ゼミ
松戸アートラインプロジェクト2010



「101人ライトドローイング」
大成哲雄+聖徳大学大成ゼミ 暮らしの芸術都市2012



「デコデコチャリンこ〜団地探検隊〜」 聖徳大学大成ゼミ
常盤平アートプロジェクト 2012



教育機関での鑑賞活動
2009年〜現在 聖徳大学大成ゼミの鑑賞活動 松戸第4中
学校, 松戸六実中学校, 新松戸南中学校, KEYAKIDS など
15校



「つながる洋服プロジェクト」
大成哲雄+ KEYAKIDS + 聖徳大学大成ゼミ
暮らしの芸術都市 2013



「西口公園プロジェクト」企画 内海昭子
暮らしの芸術都市 2012



「きのこロボット THE MOVIE」 聖徳大学大成ゼミ+ KEYAKIDS
暮らしの芸術都市 2014



「芸術士と語ろう」 第2回子どものアート研究会 (2014)
COC 事業

4. 期待と成果

「暮らしの芸術都市」を更にすすめ、アートパークや地域諸団体、教育機関との連携や市内在住、海外からのアーティストの活用、松戸に「文化をつくる」活動を継続、推進する。2014年の「PARADISE AIR」の応募には、世界65カ国から253通の応募があり、選抜されたアーティストは数ヶ月松戸に滞在し質の高いアートプロジェクトを行っている。「PARADISE AIR」は海外のアーティストからも注目されるレジデンスになりつつあり今後も期待される。

また、2014年9月23日に行ったシンポジウム「芸術士と語ろう」を受け、高松市がイタリアのレージョ・エミリアに影響され行っている芸術士派遣事業のようなプロジェクトも検討している。この事業は、地域のアーティストを「芸術士」として保育所などに派遣する内容であり、造形教育、保育、まちづくりなどの分野からも注目されている。松戸市に関わって来たアーティストは内外を問わず地域の

貴重な人材であり、教育機関や施設などへの派遣事業を行う事で次代を担う子どもたちに芸術に触れる機会をつくる事が出来る。「PARADISE AIR」とのリンクや「アートパーク」など様々な連携の中からアートプロジェクト、文化事業を推進できる人材を育てていくことは重要であり、市民が芸術、文化に関心を持ち更にクリエイティブなまちになることを期待したい。

- ・暮らしの芸術都市ホームページ <http://matsudo-artline.com/>
- ・松戸市公式ホームページ 暮らしの芸術都市 <http://www.city.matsudo.chiba.jp/miryoku/kankoumiryokubunka/rekisi-bunka/bunka/art/kurashinogeiijutsu/>
- ・アートパークプロジェクトブログ <http://artpark.exblog.jp/>